



*"de quattro
stagioni"*

92th
Regular
Concert

四季を
テーマに...

明治大学

ハーモニカソサエティー

1977. 11. 4. In HIBIYA-KOKAIDŌ



部長
北島忠男

今年は、久しぶりに、明大の大学祭も文化の日を中心に開かれました。われわれ明治大学ハーモニカ・ソサエティーも、大学祭たけなわの今日、第92回定期演奏会をこじ比谷公会堂で開催のはこびとなりました。春の定期演奏会につづいての都心での公開演奏です。

今年の春に入部した大勢の新入生諸君も、この半年間に成長して、今日の演奏会にのぞんでおります。きっと、よい音楽を聴かせてくれるものと期待しております。また、4年生の諸君は、今日の演奏会を最後として、来年の3月には社会人として巣立って行きます。

年々歳々、時は移り、人は変わって行きますが、ハーモニカ・ソサエティーは59年間に亘って演奏会をもちつづけて参りました。秋はもの想うときとか。秋の定期演奏会になりますと、毎年のことながら、人生の有限と無限といった、同じような想いにかかれています。

われわれ明治大学ハーモニカ・ソサエティーが、これからも、絶えることなく演奏会を持ちつづけられますよう、ご来場の皆様の暖いご支援を心からお願い申し上げます。

(北島忠男)

今日のようなハーモニカの原型は、今から150年前の1827年ドイツの織物職人であったクリスチャン・メスナーの手によって完成されたと伝えられている。ドイツでは、今から50年前の1927年に《ハーモニカ100年祭》を開いている。その時に行なわれたコンテストに、私は、単身日本から参加して優勝し、それに続くヨーロッパでの生活のことなど、まるで昨日のことのように鮮やかな思い出となってよみがえってくるのである。今年、日本でハーモニカの生誕を祝う催し物がたくさん行なわれているのを見ると、ハーモニカは、どうも欧米よりも日本の方が盛んなような気がする。日本にハーモニカが入ってきてから約90年ほどになるが、最近若い人達の間で盛んに行なわれているのを見るのは嬉しい。ことに長い我国のハーモニカの歴史上で避けて通ることのできない明大ハーモニカ・ソサエティーの健在ぶりを見ることは嬉しい。大正7年頃にコーリン会からスタートして来年で60年を迎えるこの明大ハーモニカ・ソサエティーが、今後ますます発展され、伝統ある歴史の上に、さらにいっそうの輝きを増されんことを祈っている。

(全日本ハーモニカ連盟 理事長・佐藤秀郎)

明治大学ハーモニカ・ソサエティーの皆様が第92回定期演奏会を開催されるにあたり、我々早稲田大学ハーモニカソサエティー部員一同心よりお祝い申し上げます。

年に2回もの定期演奏会、4大学交歓演奏会、岡山演奏旅行、そしてその他数々の演奏会を催され、その活動の広範さはハーモニカの特質とその可能性を追求してゆく真摯な姿であり、自分達の音楽を広く聴いてもらおうという意欲の現われであると思います。

特に今宵のステージは一年の練習と努力の総決算であり、又次代へ大きく飛躍するための足掛りとなることでしょう。皆様のその意気込みと自信は並大抵のものではなく、すばらしい演奏を聴かせてくれるものと期待しております。御成功お祈り致します。

文責・番平(早稲田)

早稲田大学ハーモニカ・ソサエティー
立教大学ハーモニカ・ソサエティー
中央大学ハーモニカ・ソサエティー

今宵、ここに貴明治大学ハーモニカソサエティーが第92回定期演奏会を盛大に催されることを心からお喜び申し上げます。今回の演奏会においても、「ハーモニカ」と云う最も哀愁の漂う楽器をフルに生かした素晴らしい演奏会になる事と確信して居ります。

今後さらに隆盛にご発展されますことを心から祈り、お祝いのことばとさせていただきます。

明治大学マンドリン倶楽部

秋のおちついた色合いの中にもふと冬の気配を感じます今日この頃、本日は私共明治大学ハーモニカソサエティー第92回定期演奏会に御来場下さいまして誠にありがとうございます。

さて今回は、流れゆく時、めぐりくる月日に想いをよせて“四季をテーマに……”お送りいたします。第1部に春と夏のイメージの曲をつらねて軽快に、また第2部にはゲストにザ・ブレスンフォアの皆さんを迎えて情緒たっぷりに秋と冬を表現します。そして第3部では4年間クラブに打ち込んできた4年生の最後のステージを中心にくりひろげられる我が「明大ハモソサウンド」をお楽しみ下さい。

なにぶんにも勉強の合い間の練習ですので多分に未熟ではございますが部員一同精一杯演奏いたします。皆様のより多くのご声援をいただければ幸いに存じます。

最後にこの演奏会のために御尽力下さいました野村、神谷両氏、ならびに各方面の方々に心から御礼申し上げます。

昭和52年 11月4日

